

図上訓練(D I G)研修会

『DIG』って何??

『DIG』とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、**D**isaster **I**magination **G**ameの頭文字をとって『DIG (ディグ)』と名付けられました。英語の動詞 digには「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。『DIG』という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。



図上訓練 (DIG) は、地図を広げて自分たちの住む地域に起るかもしれない災害をより具体的にとらえ、自分たちでできる備えは何があるのか考えるというものです。自分の地域で実施する前に DIG に必要な道具やポイントなどが学べます。実施最少人員は原則として 15 人以上、1 ヶ月前までにお申し込みください。詳細については、県防災研修センターにお問い合わせください。

鹿児島県防災研修センター
電話 0995-64-5251
FAX 0995-66-5909



体験後の感想

- ★今回 DIG を行い自分の住んでいる町を理解することができました。今回の体験を災害時に活かせるといいなと思います
- ★今まで、DIG というものを知らなかったなので、地域の特徴など知ることができた。
- ★このような機会がないと、防災について考える事がないので、すごく良かったです。色々な色を使えたのも楽しかった
- ★学校の周辺の地域について詳しく知ることができました。避難を想定して過ごしていきたいと思います。
- ★いつも何気なく住んでいるが、高い建物の位置や川の位置など改めて確認できる機会となった。
- ★自分が生活している場での防災について、より詳しく学ぶことができ良かったです。今後活かしたいと思います。